

令和元年度

出資団体監査の結果報告書

中津川市監査委員



中監査第31号  
令和2年2月17日

中津川市長 青山節児様  
中津川市議会議長 勝 彰 様

中津川市監査委員  
今井 正義  
田口 文数

令和元年度出資団体の監査結果について

令和元年度の出資団体の監査を地方自治法第199条第7項の規定により実施したので、その結果を同条第9項の規定により報告します。

# 目 次

1	監査の対象及び監査の期日	1
2	監査の方法	1
3	監査の結果	1
	I (一財) 椀の湖ふれあい村	2

## 1 監査の対象及び監査の期日

令和元年度の出資団体（第三セクター）監査は、市の出資団体4社のうちから、監査委員が選定した次の団体の経営状況について実施した。

実施日	出資団体（第三セクター）名	担当課
11月15日（金）	（一財）椀の湖ふれあい村	坂下総合事務所

## 2 監査の方法

平成30年度における出資団体の現金出納などに関する事務、事業の執行及び事業結果について監査を行った。

監査にあたっては、団体から提出された定款等の写し、事業計画書、事業報告書、決算報告書（貸借対照表・損益計算書）を参考に、会計帳簿、その他関係書類について精査し、併せて団体責任者等及び担当課職員の説明を聴取すると共に、現地調査を行った。

## 3 監査の結果

経理及び関係書類等は適正に処理されているものと認められた。

監査意見等については次頁以降のとおりである。

# I (一財) 椀の湖ふれあい村

## 1 監査の対象

(一財) 椀の湖ふれあい村

2 監査の期日 令和元年11月15日(金)

## 3 事業の概要

この法人は、平成7年2月に当時の坂下町が設置したキャンプ場等観光施設の管理運営、その他観光等事業の実施を通じて、地域の観光振興と地域経済の発展を図り、もって活力ある地域づくりを目的に次の事業を行っている。

- (1) 中津川市から委託を受けた観光施設の管理及び運営に関する事業
- (2) 地域の観光振興を図るための事業
- (3) 観光に関する情報収集及び提供に関する事業
- (4) 農産物等の生産及び販売に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 経理の状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

<b>収 益</b>	<b>52,545,773</b>	<b>資産合計</b>	<b>45,264,433…①</b>
事業収益	48,600,510	流動資産	42,341,612
受取補助金等	3,559,928	固定資産	2,922,821
雑収益	385,335	<b>負債合計</b>	<b>25,111,395…②</b>
<b>費用・損失</b>	<b>52,006,966</b>	流動負債	22,339,479
事業費	50,542,162	固定負債	2,771,916
管理費	695,904	<b>純資産合計</b>	<b>20,153,038…③</b>
当期法人税等	768,900	市資本金	30,000,000
<b>当期一般</b>		前期繰越正味財産増減	
<b>正味財産増減額</b>	<b>538,807</b>		△9,308,155
		当期一般正味財産増減額	
			538,807
			※① = ② + ③

## 5 監査意見

平成 30 年度は、台風の影響などにより入込客数は平成 29 年度に比べて 1,054 人の減少となったが、オートキャンプ等の利用者は増加傾向にあり、トータルとしては 538,807 円の黒字決算であった。

キャンプ場の運営のみであれば、2,460,707 円の収益をあげているが、自然公園とグラウンドの指定管理の赤字によってトータルの収益を大きく減少させている状況である。自然公園には、文字通り豊かな自然と素晴らしい景観という大きな財産がある。単にそば畑の運営だけに頼るのではなく、さらなる付加価値の向上を図り、キャンプ場とあわせてトータルの施設として集客につながる事業の展開等、収益増化の方策を検討されたい。

市民のバーベキュー施設利用が徐々に増加しているようであるが、更に市民の利用向上を図るための P R 等にも努められたい。また、雨天に対応できる屋根等の設置についても検討されたい。